

体験学習

～ アクティブラーナーの育成 ～



有限会社
エッセンシャルエデュケーションセンター
for Self Establishment since 1997

人間の真価が問われる時代だからこそ

【従来型】

受動的
講義を聞く
講師主体
インプット
教える
正解探し
机上の空論



【EEC体験型】

能動的
(アクティブラーニング)
体験を通して学ぶ
生徒主体
アウトプット
自ら学ぶ
0から1を生む
圧倒的リアリティ

机上には無い、圧倒的なリアリティ

思い通りにいかない状況の連続

『EEC体験型プログラム』の課題は、解決方法が一つではありません。メンバー構成やその時の状況に合わせた柔軟な対応が求められます。またチームの一員としての責任も求められます。そんな状況の中で、メンバーと協力し課題を乗り越えて行くことが求められます。

“知る”と“出来る”の大きな違い

『EEC体験型プログラム』は、生徒 自らが考え・行動しなければ課題を達成できません。講義では、知識を得ることができますが、知識を保有することと発揮することは大きく違います。体験から学ぶことでこそ、本物の力が育まれていくのです。

ごまかしの効かない状況

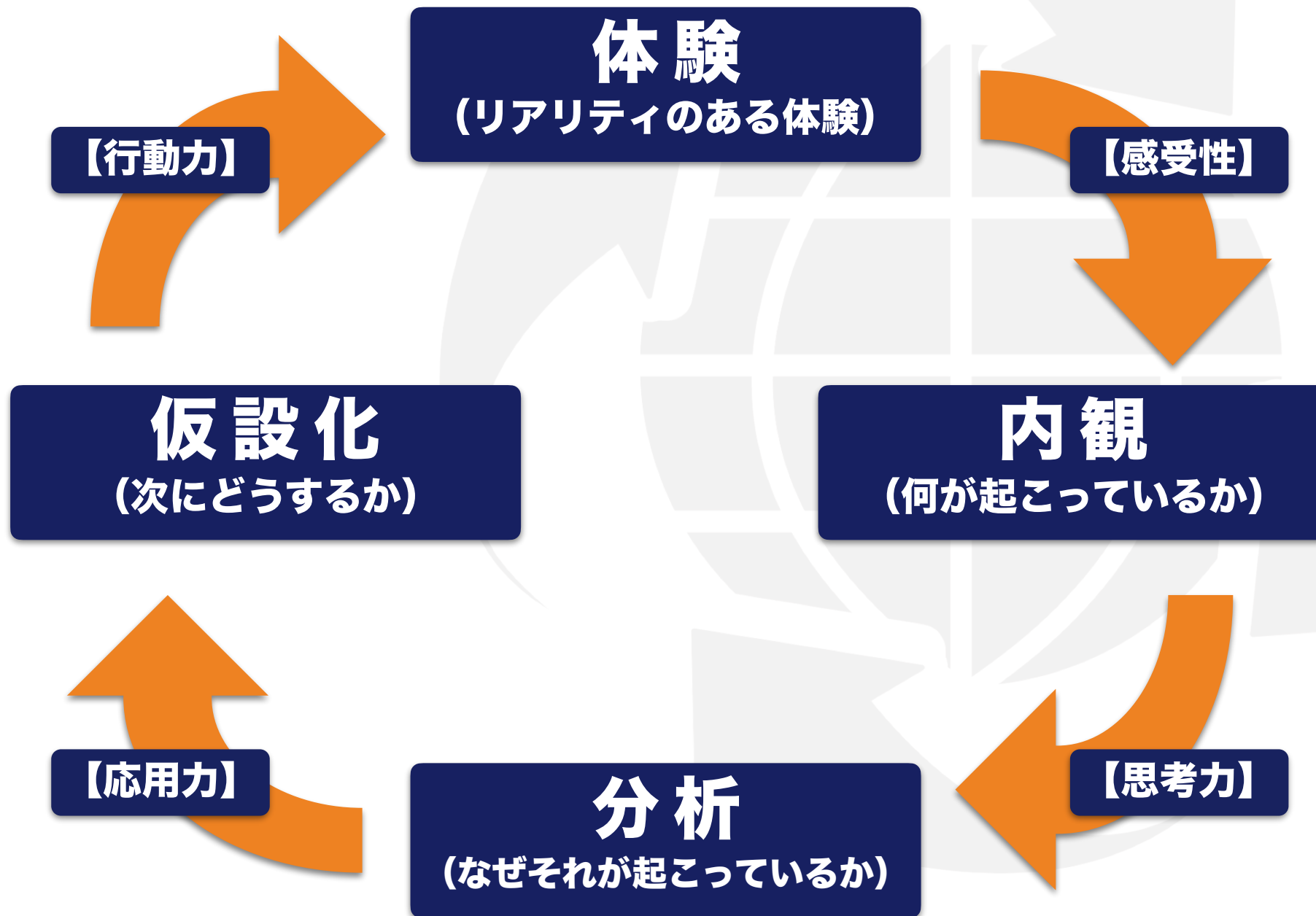
『EEC体験型プログラム』は、圧倒的な自然を使った内容が多く含まれています。小手先のテクニックやその場しのぎの対応では突破出来ない状況ばかりです。その状況の中で、試行錯誤し、個人として、チームとして立ち向かっていくことで、本物の力が育まれていきます。

自分と向き合う瞬間

『EEC体験型プログラム』には、ターニングポイントがあります。「登山」で周りのメンバーを信じられなくなる。「自転車の旅」で遥か先のゴールが不可能だと感じる。追い込まれる瞬間・苦しい瞬間が必ず訪れます。その時の自分自身と向き合い、どう行動できるか。その瞬間に立ち向かうことこそ、次のステージへ必要なステップなのです。

体験を通し、“アクティブラーナー（自ら学ぶ人）”を育む

体験から学び “自ら成長する力”



EECでは、
体験学習法の理論をベースに
プログラムがデザインされています。
ただ“体験”をして終わるのではなく、

体験の中で“何が”起こっていたか



それは“なぜ”起きているのか



次に“どうしたら”良いか



次の体験で“試してみる”

体験をふりかえり
物事の本質に迫り
次へ繋げることを繰り返し
体験から学ぶプロセスを会得。

『体験』を日常へ繋げるための、
最も大切な考え方です。

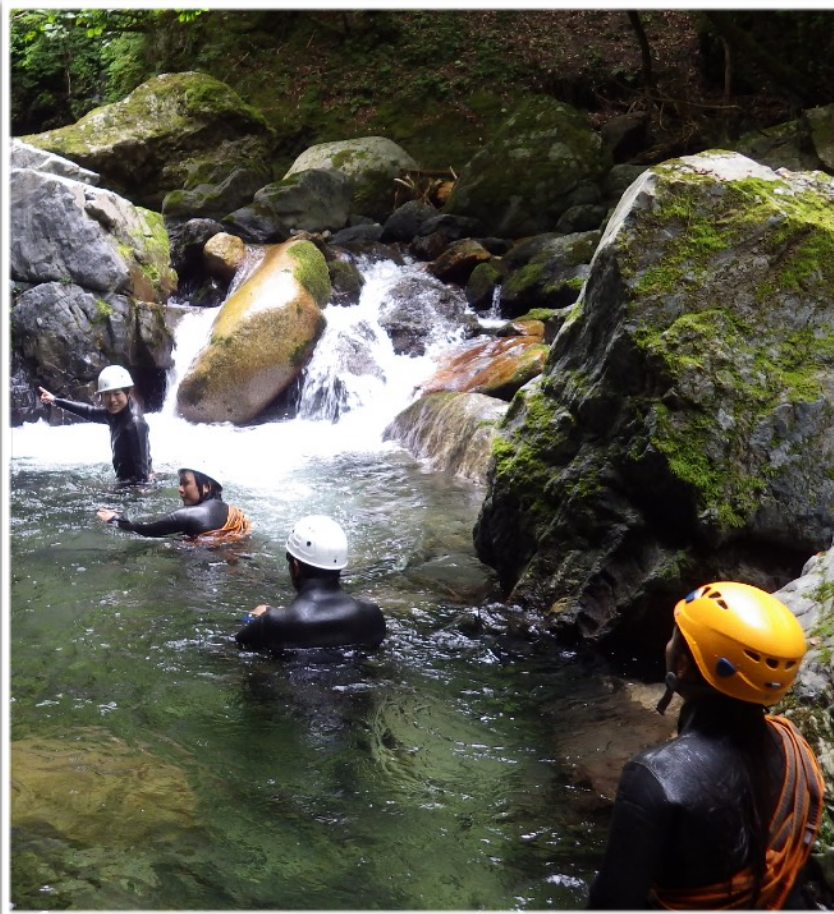
野外に設定された様々な課題に、
メンバーで試行錯誤をしながら、
挑戦します。



【課題】 ※例

チーム全員で、40分以内に
高さ4mの壁を乗り越える

【プログラム例 イカダ・沢登り】



一方的な指導ではなく、自身で体験を“**ふりかえる**”ことで、
気づき・学びへと繋がっていきます。 ※下記：ふりかえり用紙例

『チャレンジ』へ向けて



氏名：

① “今の自分” ってどんな人ですか？

『一人で何かをする時』	『皆と何かをする時』

①の自分ことは、好き？ 好きではない？ (数字に○)

好きではない 1 2 3 4 5 6 好き

②

- ・好きな人は、“どんな自分 (在りたい自分)” だと、より良いと思いますか？
- ・好きではない人は、“どんな自分 (在りたい自分)” になりたいですか？



③

どんなことを意識すれば、②の自分になれそうですか？ (目標)

ふりかえり用紙



氏名：

1、設定した 目標 にチャレンジすることは出来ましたか？

出来なかった 1 2 3 4 5 6 出来た

その数字の理由は？ 出来なかった人は、自分の中の何がジャマになっていた？

2、今の自分は“どんな人”ですか？

そんな自分自身への満足度は、『 %』

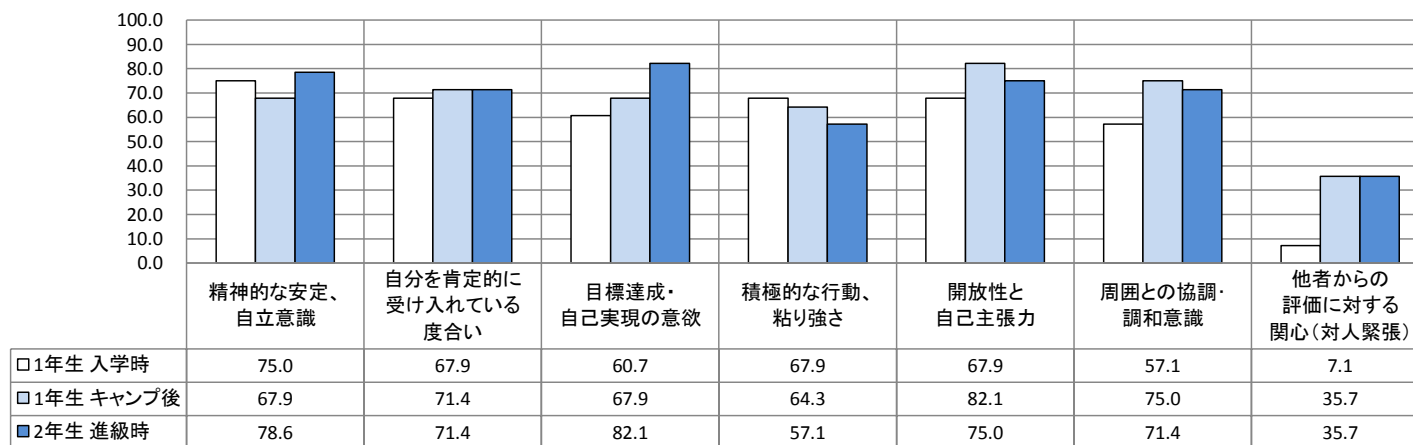
3、今後に向けて“どんな自分”を目指しますか？

【意識調査・親塾（保護者説明会）】

体験プログラムと合わせて、意識調査を実施することで、体験の効果や子どもの現状・変容を見ることが可能です。

また、保護者向けに、事前説明会や事後の報告会を行うことで、体験を通して学ぶことの意味や、今求められている教育についてなど、事業実施への理解とサポートを得ることも可能です。

自分についてのアンケート集計結果【対象者氏名】

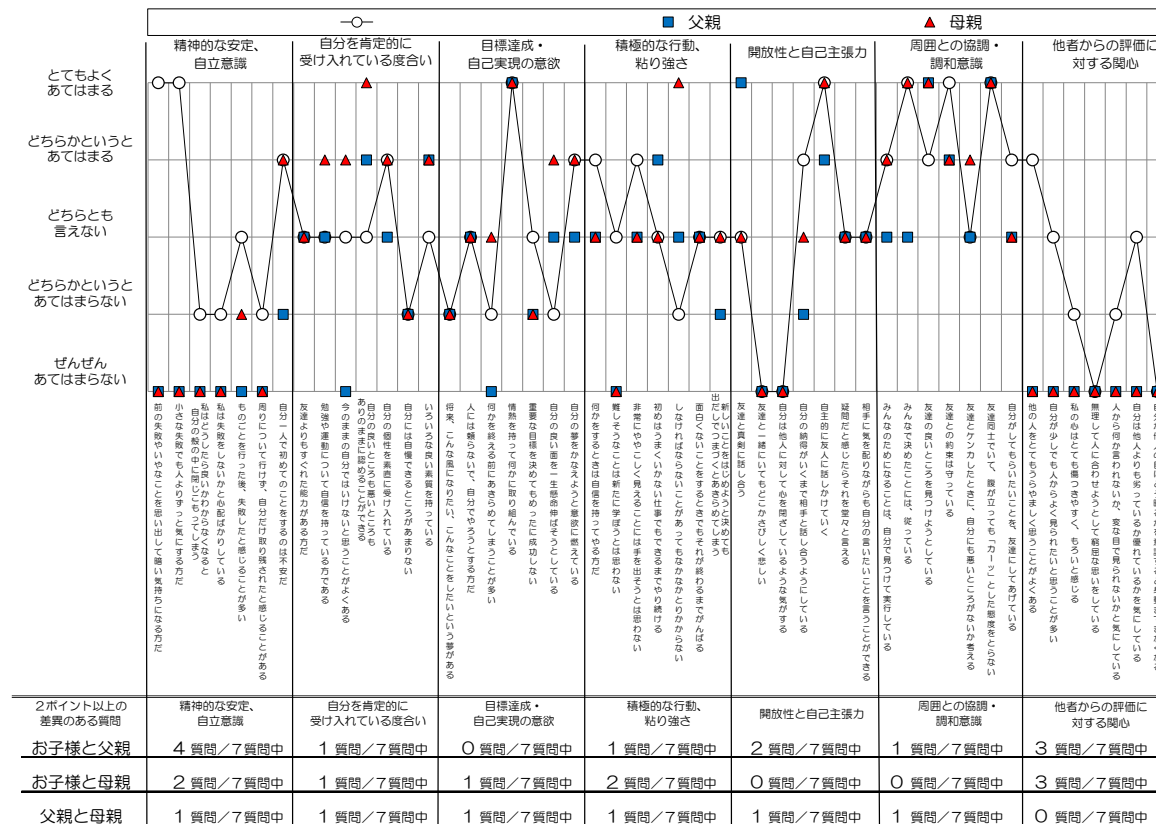


【高い】	精神的に安定、自立意識が高い。	自分を肯定的に受け入れている。	目標意識が明確、努力意識が高い。	積極的な行動が多い、粘り強い。	開放的・自己主張ができる。	周りとの協調・調和を重視する。	他者からの評価に敏感高すぎる場合、対人緊張
項目の特徴	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕
【低い】	精神的な不安、孤独感を感じている。	今の自分に否定的、理想が高い。	目標が不明確、将来に対する不安。	消極的な行動が多い、あきらめやすい。	閉鎖的な所がある。自己主張が苦手。	自分の感情・主張を重視する。	他者からの評価を気にしない。対人関係の安定。

【自分についてのアンケートから】



お子様が捉えている自分像、ご両親が捉えているお子様像のアンケート集計結果



【Essential Education モデル】



【行動力】
『試みる』

コンテンツ
業務・ツール・結果

【感受性】
『気づく』

プロセス

行動・話し方・聞き方
表情・態度

目に見える領域

自己変革

納得感のある
本質的な行動・意識変革

自己内観

何が起きているか
目に見えない部分
本質に目を向ける

エッセンシャル

意図・考え・目的
感情・思い
価値観・信念

目に見えない領域

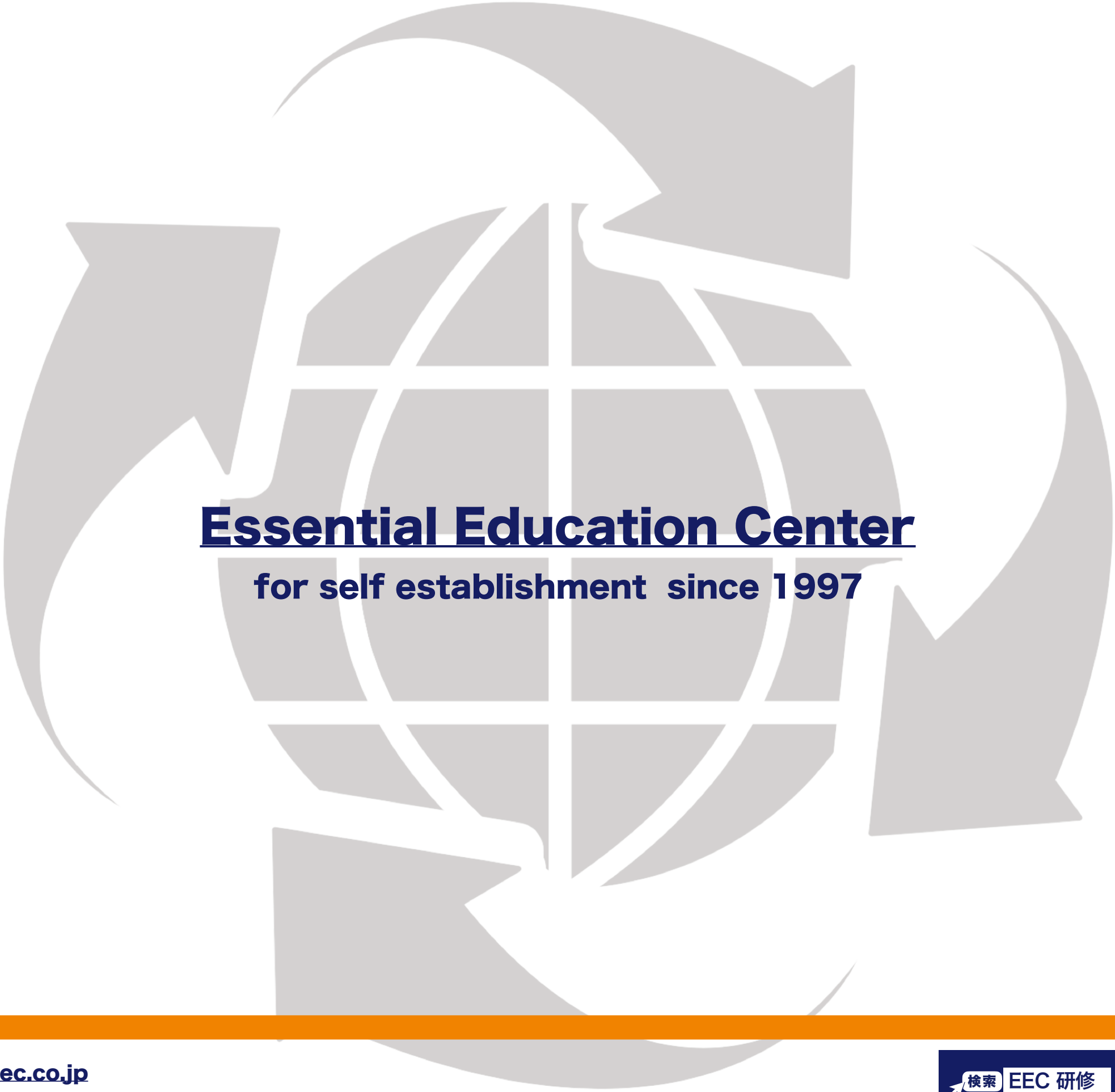
【応用力】
『繋げる』

無意識の世界

本能・衝動・生理現象

【思考力】
『考える』

『Essential Educationモデルとは？』
日常や体験を“ふりかえり”
目に見えない物事や人間関係の本質に目を向け、
行動・意識変革を促す成長循環モデルです。
この循環を繰り返すことで、持続的成長力
“自分で自分を成長させる力”を育んでいきます。



Essential Education Center

for self establishment since 1997